



素読を楽しむ受講者（平田コミュニティセンター）

# 気持ちすっきり「子曰く…」

## 論語の素読を楽しむ会開講

出雲 平田コミュニティセン

二千五百年前の孔子の言行や弟子との問答が描かれた「論語」。その論語を声に出して素読することで、心を育み、論語の生き方や考え方を学ぼうと二十八日、出雲市平田町の平田コミュニティセンター（多久和淑子センター長）で「平田めだか論語塾」が開講した。

当日は、論語普及委員会（人間自然科学研究所事務局長の小谷忠延さん（69）を迎え、三歳から八十代までの地域住民およそ三十人が参加。元高校教師の岩本勲（たけし）さん（71）による解説も交

え、「子曰く…」のたまわく…」と声をあげながら論語の素読を楽しんだ。

受講者らは「気持ちすっきりしますね」「自分の身を反省することもありましたね」と楽しかったと交

口々に感想を話していた。県内では、このほかにも昨年八月に開講し

た八雲めだか論語塾（松江市八雲町）、同市城北公民館（同市北掘町）、出雲市の出雲めだか論語塾（出雲市塩冶御前）クローバーワークス）など、論語の素読を楽しむ会が相次いで開講している。

各地で講師を務める小谷さんは「論語を素読することで、心の環境が育ち、うるおいのある人間関係が生まれる。子どもたちから耳で覚えることで、将来に役立つ」と論語の魅力を話す。

平田めだか論語塾についての問い合わせは、同コミュニティセンター（電話0853・63・1388）、出雲めだか論語塾の問い合わせは、クローバーワークス（電話0853・23・6768）まで。